

昭和49年 5 月22日

特許庁長官 殿

4 発用の名称 デカンサケデンコウドウタイセインクルウ 重換酢酸酵準体の製造法

兵庫県尼崎市武庫豊町2の5の53の303

(ほか/名) 芳

大阪府大阪市東区遺修町3丁目/3番地

大阪市福島区鷺州上2丁目42番地

塩野蒸製業株式会社特許部(電話 06~438~386/)

弁理士(6703) 岩



よ添付替類の 目録



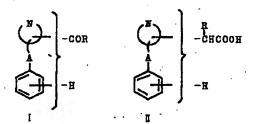
49-058244

4発明の名称

置換酢酸誘導体の製造法

2.特許請求の範囲

一般式しで表わされる化合物にアルコキシメチ レン三炭化水素基量集フォスフォランを反応させ て得られる化合物を加水分解しついで酸化して一 般式『で表わされる化合物を得るととを特徴とす る置換酢酸誘導体の製造法。



(式中、◯はピリジン、ピリミジン、イミダゾ− ル、チトラゾールまたはチアゾールを妻わし、R は炭化水業基を変わし、Aは酸素、硫黄、 基または炭化水素量換ィミノ基を表わし、これよ

(19) 日本国特許庁

公開特許公報

①特開昭 .50-149668

43公開日 昭 50. (1975) 11 29

49-58244

昭49 (1974) 5.22 22出顧日

朱籍宋

(全8頁)

庁内整理番号 5647 44 762 44

60日本分類 16 E351 16 EA3

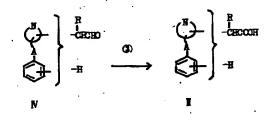
(1) Int. C12. CO7DZ77/34 CO7DZ17/36 C070217/38

び上記ペンゼン漬は反応に影響を及ぼさない!~ 3個の置換基を有していてもよくあるいは縮合べ ンゼン環または縮合脂環を有していてもよく-COR 恙はこの縮合ペンセン環上にあつてもよい。但し ○ がチアゾールでない場合は、Aは酸素または硫 賞を表わす。)

3発明の詳細な説明

本発明は置換酢酸誘導体の製造法に関し、その 目的は優れた抗炎症作用し抗りウマチ作用も含む! および鎮痛作用を示し医薬または動物薬として有 用な世換酢酸糖導体を得る点にある。

本発明方法の要旨は次式によつて示される。



(式中、Bはピリジン、ピリミジン、イミダゾール、テトラゾールまたはチアゾールを表わし、Aは酸素、硫黄、イミノは炭化水素温後イミノ基を表わし、Bおよび上記ペンゼン環は反応に影響を及ばさない!~3個の電換基を有していてもよくあるいは縮合脳環を有していてもよく、-CCR基はこの縮合ペンゼン環上にあつてもよい。Rはアルキル基を表わす。但しばケアゾールでない場合は、Aは酸素または硫質を表わす。)

本発明方法は一般式「で表わされる化合物をア ルコキシメチレン三炭化水素量換フオスフオラン と反応させるいわゆるウィティッヒ(WittigN反 応に付し(反応①) 、得られる化合物画を加水分

- 3 -

反応させるのが通常実務的である。反応は通常不 活性気流中で行われる。得られる化合物量はつい で反応のすなわち加水分解反応に付し、アルコキ シメチレン基をアルデヒド基にする。この加水分解は通常エノールエーテルを加水分解する。明えば、酸 いられる手段を用いることができる。例えば、酸 として塩酸、硫酸、硝酸またはこれらとを有機酸 として水酸化アルカリ、炭酸アルカリ をが用いられ水あるいは含水溶液でなた。 どが用いられ水あるいは含水溶液でなた。 とが用いられ水あるいは含水溶液でない とが用いられ水あるいは含水溶液で とが用いられ水ある。生成する化合物をは 単態することなく次工程のに付すことができる。

反応③は化合物》のアルヂヒド基をカルボキシル基に変えるもので一般のアルヂヒド基をカルボキシル基に変換する酸化反応に準じて行えばよい。例えば過マンガン酸カリウム。過酸化水素、酸化銀などにより水中または有機溶媒中で酸化してもよいし、硝酸、クロム酸、希硫酸と過酸化粉、または過酸化酢酸などにより酸化してもよい。なお上記反応①、③および の工程において反応を受

幹期 昭50─ 149668 (2) 解に付し化合物 N とした (反応②) 後酸化反応に 付して目的とする無典酢酸誘導体 II を得る (反応 ③) ものである。

次に本発明方法の実施について詳細に配する。 反応(1)は通常のウィティッヒ反応に従つて行えば よく、超々のアルコキシメチレン三炭化水素置換 フオスフオラン(例えば、メトキシメチレントリ フェニルフオスフオラン、メトキシメチレントリ (ょトキシょチル) フオスフオラン、エトキシメチ レントリプチルフオスフオランなど)が原科化合 物と反応条件に応じて適宜選択し使用される。例 えば、上記フォスフォランにハロゲン化水素が付 加したフォスフォニウム塩を使用し、有機金属(例えば、フエニルリチウム、ブチルリチクムなど) を用いてユーテル類(俯えば。エーテル。ジビニ ルェーチル、チトラヒドロフランなどし中で必要 に応じて加麗下で化合物!と反応させるか、ある いはアルカリ金属アルコキサイド(例えば、ナト りウムメチラート、ナトリウムエチラートなど) を用いアルコキサイドと対応するアルコール中で

_ # _

ける環上の重換器は各反応の前後に重換器を修飾 することにより、最終において目的化合物を得る ようにすることができる。

かくして得られた化合物』はおらに分離。精製あるいは製剤化、その他の必要に応じて、適当なアルカリ金属塩(例えば、ナトリウム、カリウムなど)、アルカリ土類金属塩(例えば、カルシウム、マグネシウム、パリウムなど)、その他アルミニウム塩などに常法に従つて変換することができる。

本発明方法の目的化合物である置換酢酸誘導体 及びその塩類は優れた抗災症作用(抗)ウマチ作用も含む)または鎮痛作用を示し、医薬または動 物薬として有用な化合物である。

以下実施例において本発明方法の実施銀様を示

变超例 /

粉末にしたメトキシメテレントリフエニルフォスフォリウムグロライドはまる# 9 をエーテル 2 * 0 以に軽潤し、内型 / 5 ~ 2 0 ℃で / / 2 5

モルフェニルリチウムエーチル溶液60gを滴下後!5℃で!5分間かきまぜる。ユーフェノキシー 5ーアセチルピリジンス!4月のエーチル溶液!40gを30分で摘下後室温で!4時間かきまぜる。不溶物を沪去し沪波に水水を注ぎエーテルで抽出する。抽出液を水洗、乾燥後溶鉱を製去し残液!262月をシリカゲルカラムクロマトに付す。ペンゼン/酢酸エチル(50:1)溶出部を設圧蒸留すると took smilly 147~149℃のユーフェノキシー5~(1ーメチルーユーメトキシビニル)ピリジン542月を得る。

元素分析 C_{ノス}H_{ノス}O₂H として 計算値: C、7466;H、6.37;H、489 実験値: C、7494;H。6.37;H、479 - IR v CHC43 cm / /658、/590 NMR 8(CDC4₃) /88、/95(3H、d)。/367、 370(3H、B)、6/2、633(3H、q)

本品 L 4 4 8 を 2 8 塩酸 3 0 ㎡に加え、窒素気 流中一夜からまずた後反応液にベンゼン/ 0 ㎡を 入れ窒素気流中温マンガン酸カリウム L 3 8 の水

- 2 -

Ca(nH₂O): カルシウム塩(n水和物を扱わす) A&:アルミニウム塩 d:分解点

(以下余白)

特別 昭50-149668(3) 溶液 3 の 4を 2 の分で 復下さらに 室温で 1 の分間 かきまぜた 後不溶物を沪去し沪液を設設 水素ナトリウムで 田出する。 抽出液を 5 多炭酸 水素ナトリウム 水溶液で 西田出 出版を 5 多炭酸 水素ナトリウム 水溶液で 西田出 出版を 5 多炭酸 水素ナトリウム 水溶液で 西田出 出出 は 1 の 5 塩酸で 中 5 とした 後 エーテルで 再び 品 出 出 液 6 1 の 7 を ベンゼン/ 石 相 エーテルで 再話 晶 する 6 1 0 可を ベンゼン/ 石 相 エーテルで 再話 晶 する と 中 5 6 ~ 7 0 0 0 0 2 - (2 - つ エノ キシー よー ピリシル) プロピオン酸 2 1 0 可を 得る。 本品 は 他の方法により 調製された 銀品と 同定された。

実施例2

以下突駆例!と関機にして下記の化合物を得る。 なお、下記表中で用いられる略号は下記の意味を 妄わし、A欄において例えばユーロはピリジン環 の3位がエーテル結合していることを表わし、X, X, Y, Y,およびY,欄において例えば4-C1 はクロ ルが母核の4位を置換していることを表わす。

Me:メチル基 Met:メトキシ基 Bt:エチル基
lso-Bu:イソプチル基 Ac:アセチル基 An:アニリノ基
CH. ♥:シクロプロピルメチル基

-8-

	Y,								•
実証例	R -CHCOOH の位置	R	- A -	I,	X ₂	Υ,	٧,	Y,	#p("C)
2	3	Me	<i>s</i> – 0	Ħ	H	H	B	H	/35~/355
3	· ø	Мe	2-0	ĸ	Ħ	#-C#	H	H	//9~/20d
#	#	Me	2 — 0	H	H	H	H	Ħ	98~98d
s	#	Йe	2 - 0	Ħ	H	2-C8	H	H	107.5~10254
. 6	4	Mе	2 – 0	H	H	3-C4	H	H	84~83d
7	3	Me	2 – 0	H	H	4-C4	Ħ.	H	110~111
8	3	Жe	2-0	Ħ	Ħ	H	H	H	94~95
9	3	No.	4-0	H	H	u-cs	H	H	114~115
10	2	Мe	6 ~ O	H	Ħ	H	Ħ	Ħ	Ca(2H20)/35~/36
. //	-2	Me	·4 — 0	Ħ	H	#-CS	Ħ	H	Ca(2H,0)80~8/d
12	4	Ko	2 – \$	Ħ	H	· a-ce	B	Ħ	M64~65
13	g.	Жe	2 – 0	H	H	4 Met.	B	H	129~130d
14	4	M e	2-0	Ħ	Ħ	4-10 9	H	H	101~102d
15	3	Me	6 - S	H	H	H	B	Ħ	1145~1155
16	3	Me	4 - 0	H	H	⊈ M e	H	H .	78~99
17	#	Me	2 – 8	H	Ħ	H	H	H	Ca(34H 20)/40~/4/
18	3	Мe	4 – 0	H	H	# Met	H	H	Ce(/H 0)/55
19	#	Et	2 - o	H	Ħ	4-C\$	H	Ħ	92~93
20	3	Me	6-0	Ħ	H	3-C4	H	H	106~107
21	#	¥е	2-0	H	H	4-CH	H	H	105~106d
22 .	3	Et	<u>د</u> — ۵	Ħ	Ħ	#-C8	Ħ	H	A1236
23	. #	Me	2-0	Ħ	Ħ	4-COOE	Ħ	Ħ	154~1564
24	#	¥е	2-0	H.	H	3-CF,	H	H	Ca(2H20)/55~/57
25	3	Ne	4 — S	Ħ	H	4-C8	Ħ	Ħ	Ca(H,0)/50
26	#	No	2-0	H	H	4-CONE	H	H	/60~/62 (発泡)
27	#	Me	4 — 0	Ħ	H	4-0H	H	Ħ	Ca(#H20)/87~/89
28	#	¥е	2-0	Ħ	H	9-0Ac	H	H	Cal 2H_0) /325~/335
29	. 3	¥е	4 — 0	H	H	4-OAc	H	H	Ca(#H_O)/#5
30	3	Мe	6 — 0	H	H	#-OH	H	H	Ca(H ₂ 0)205
3/	#	'Me	2 – 0	H	H	#-H02	H	H	115~1164
32	4.	Жe	2 – 0	H	H	4-NH,	H	Ħ	/32~/33d
33	g.	Жe	2 -0	Ħ	H	ψ-NHAc	H	·H	/#2~/#3d
34	#	Жe	2 0	H	Ħ	#-NHCOOEt	H	H	/36~/37d
	I		_						

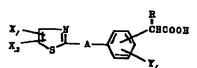
実施例 系	R - 03000日 の位置	R	- A -	x;	I,	Y,_	Y,	Y,	₩ ("C)
35	#	¥е	2-0	H	H	7-30 00€20	H	H .	206~208d
34	3 .	Ko	4-0	H	H	# Br	H	H.	119~120
37	#	Mo	2-0	Ħ	Ħ	3 4 -	ベンゾ	H	/35~/37d
38	3	Me	٥ – ٥	Ħ	Ħ	4-CE	H	H	120~121
39	3	Me	4-0	#-16s	H	H	H	H	135~136
40	3	No.	4 – 0	2-Mo	Ħ	Ħ	H	H	92~93
#1		Ko	6-0	Ė	Ħ	- 2 Ne	3-Me	H	115~116
42	3 .	Жe	6-0	Ħ	Ħ	2-C#	H	H	96~97
#3	3	Me	6 - 0	H	H	i ¥ o	Ħ	E	65~67
##	3	Mo	4-0	H	H	3-Me	H	H	8/~82
#3	3	¥в	4-0	H	H	3-16e	s-Me	E	120~121
46	3	¥ e	6-0	H	Ħ	3-16e	4-Me	H	90~91
47	3	Me	# 0	H	Ħ	H	H	H	145~146
4 B	3	Mo	4-0	H	H	#-180-Bu	E	Ħ.	77~78
49	44	Mo	2-0	H	H	-2- No	3-Me	H	86~87d
50	3	Me	4-0	<i>9</i> −Me	H	H	. H	H	107~108
51	3	Mo	6 - D	H	H	.3-Me	ı-Me	H	Ca(2H20)/95d
52	3	Me	4-0	H	Ħ	.2-₩a	4−Ke	H .	Ca(2H2O)/87d
53	3	Me	4-0	H	H	.2-Ho	4-Ne	H	Ca(/SH20) 202d
54	#	Mo	2-0	H	H	.3- ¥ (e	4- N 0	H	/23~/2#d
55	#	No	2-0	H	H	3- M e	J-Ne	H	103~1040
56	3	Me	4 — 0	Ħ	H	. 2 ¥ 6			128~129
57	3	K.	4-0	H	H	. 2-16 0	#−∏e	3-K0	//3~//#
58	3	Me	4 — D	H	H	.3-14e			155~156
57	3	Mo	4 - 0	H	H	2-¥ e		6-X o	135~136
60	3	Mo	4-0	H	H	34-(Œ ³) _# _	H	Ca(/3H,0)/47d
61	#	Me	2-0	H	Ħ	. 3 Me	3-X0	2-Ne	/25~/26d
4.2	u u	M.	2 - 0	Ħ	H	3 No			/24~/27d
63	3	Me	4-0	H.	H	23-(CH ₂		B	Cal VIH D)\ed-1669
64	3	Me	4-0	H.	Ħ		ペンゾ	H	1205~1265
65	3	Me	6-0	. H	H		ベンゾ	H	/3/~/32
66	3	Мe	4 - 0	#-140			H	H	144~143
67	.4	Ke	2 – 0	•	~~!	•	H	Ħ	Cal 15H ₂ 01216~27
68	3	Ko			-ベン /		H	H	/22~/23
69	3	¥е	4-0	45 -	- (CH	-	H.	H	15/~152
70	3	Иe	4-0	H	H	34-1 CH) ₃ -	H	/225~/235

実証例	3 - CHC00H の位置	R	- A -	I,	I,	Y,	Y,	Y,	₩(°C)
71	3 .	16 8	6-0	H	н	J-Met	Ħ	H	625~705
72	3	Me	4-0	2- 16 0	4-Ma	Ħ	Ħ	H	Ca(/3H,0)2/8d
73	3	Me	4-0	Ħ	H	4-OH	H	H	167~169
7#	3	Ме	4-0	Ħ	H	9-Aco	H	H	161~162

夹範例	x,	X ₂	ブエノキシ茶 の位置	Y,	P -CHCCOH の位置	\$P(*C)	
75	H	H	2	H	3	76~77	
76	H	H	2	. #	4	129~130	
77	5-CH	H	2	H	4	198~200	
78	· 5-CONT	H	2	H	· 4	2//~2/2	
77	H	. H	3	H	4	130~131	
80	H	Ħ	. #	H	#	180~181	
81	34-1	OH,),-	. .a	H	#	166~167	
82	3 4 - ベ	ン・ナ	2	H	. 4	145~147	
83	3-No	α-Ne	.	H	#	1525~156	
84	∉–No	5-Ne	2	H	#	142~143	
85	. W-Me	H	2	H	¥	/23~/24	
86	6-No	Ħ	2	B.	4	Ca(H,O)273~275	
89	3-Br	Ħ	.	H	. #	137~138	
88	2-Ne	H	#	H	#	152~153	
89	5-Ne	H	2	H	#	/32~/34	
70	3-Me	H	2	н	#	/2/~/22	
91	H	H	· 2	¥e	. #	107~108	
ر و	H	R .	2	2-Yet	. 4	Ca(#H_0) /5Fd	
93	ж/	H	2	Ħ	¢	/36~/38	

₩1 3-CHOH,COOH

, 実監例 点	'Y,	Y,	A	z, .	O KAME CHOOK	ም("ሮ)
9#	H .	H	0	4-X0	, 5	110~111
75	2-Mo	3-¥e	0	4−Me	5	/#2~/#3
74	3-CF,	H	0	4−¥ 0	5	Cal / SH_O) / O & d
97	4-Me	H .	0	4-No	\$	//8. Ca(25H,0) /#6d
98	#-Cs	H	0	4-Ke	5	73~74. Ca(25H,0)/33
99	H.	Ħ	8	4-Re	*	128~130
100	H	H	. 0	H	3	Ca(/5 E , 0) /69~/70d
101	4-01	H	0	Ħ ·	5	Ca(H,0)/#5d
102	H	H	NH	4-Ne	5	/#5d
103	3-CF,	H	HH	#-No	5	/95d
104	н	H	0	H	#	Ca(25H,0)/#2d
105	H	H	0	3−Ne	4	Ca(25H,0)/#2d
106	4-C4	H	0	H	#	Ca(25H20)/33~/35d
107	4-01	B	0	5-Ne	¥	Ca(25H20)/34~/36
108	H	H	M-Ne	H	#	79~80d
109	H	H	N-Me	#-No	s	/4/~/42
110	H	H	第一アリル	4-Ne	5	106~107
///	H	Ħ	H-CH,	4-N•	\$	120~121
112	H	H	N-Me	. #	3	198~200
113	H	H	ガーアリル	н	5	/34~/35
114.	Ħ	H	H-CH2-	Q H	#	Ca(3H20)/80~/83
115	H	H	第一へへいか	H	#	Ca(H ₂ O)/20~/25d
116	H	Ħ	第一アリル	H	#	Ca(2H,0)/73~/78d



実施例 	x,	X,	A	T,	E CHCCOH	B	₽(°C) /
117	В	H	0	K	#	Жe	119~120
118	&~Me	5-Ne	0	H	#	.Me	122~12#
119	⊬−M e	H.	0	H	#	Жe	87~88
120	H	. H	0.	2-Met	#	Me	Ca(H ₂ O)/75d
121	Ħ	H	0	H	#	アリル	Ca(H_O)/3#4
122	H	H	O	·H	3	Жe	88~89
123	н '	H	N-Ke	H	#	Me	123~124
124	H	H	Nーアリル	H.	4	Жe	118~119
125	H	H	Q	H	#	Et	113~116
126	H	H	O	H	4	متحصه	121~122
127	H	H	D	H	4	※2	99~100
128	H	H	0	Ħ	4	※3	111~112
127	H	H	0	H	#	-CH ₂	85~86
130	R	Ħ	0	2-Me	4	Me	93~94

#2 -CH₂C≡CH **#3** -CH₂CCH₃=CH₂

- / 4 -

字類似ノスノベノスル

| 突起例!と剛様にして下記の化合物を得る。 | ユー〔6ー(ユーピリジルオキシ)―ユーナフ チル〕プロピオン酸、ヤノタク~198℃。

ユー〔4ー(ノーフエニルーノユミダーテトラ ゾリルオキシ)フエニル〕プロピオン酸。卯165 ~166℃。

ユー(4ー(ユーピリ ミジルオキシ)フェニル) プロピオン酸、サノクダ~ノタ5℃。

ユー[4 - l ノーメチルーユーペンズィミダゾ イルオキシトフエニル] プロピオン酸、甲18k ~185℃。

特許出願人 塩野義製業株式会社

代 垣 人 弁理士 岩崎 光隆

ム前記以外の発用者

サカイシサンジョウドオリ 大阪府堺市三条通2のs オカ ダ デッ オ 岡 田 哲 夫



特許法第17条の2による補正の掲載 昭和49年特許額第58244 号(特開昭 50-149668 号 昭和50年//月29日 発行公開特許公報50-1497 号掲載) については特許法第17条の2による補正があったので 下記の通り掲載する。

庁内整理番号	日本分類
6762 44	16 E351
7306 44	16 E431
5647 44	30 B4
5647 44	30 CO

手 駅 補 正 (意見音に代えて)



昭和 53年 美月

特許庁長官 殿 パ事件の表示 昭和49年特許顧第 58244 号 2発明の名称

置換酢鹼誘導体の製造法

3補正をする者

事件との関係 特許出願人

住所 大阪府大阪市東区道修町3丁目12番地

名称 (192) 旗野義製業株式会社

化麦者 吉利 一

4代 選 人

(電話のムー458ー58んり)

氏名 弁理士(6703). 岩 崎 光

لنع

لاست

よ補正の対象

明細書の発明の詳細な説明の傷

4.補正の内容

(1)明細書8頁//行目の「実施例2」を「実施 例2-/30」に訂正する。

(2) 同春/2頁実施例まつのX/欄の「3-Br」を「5-Br」に訂正する。

(3) 同書 / 5 頁の実施例 / 3 / ~ / 3 4 の次に下 記の実施例 / 3 5 ~ / 6 9 を追加する。

「実施例/35~/69

実施例!と同様に反応操作し,下配の化合物を 得る。

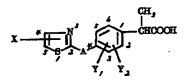
(以下余白)

実施例	Υ,:	Y	₽(℃)
135	2-Me	н	150~151
136	3-C &	H	98~99
137	2-C4	н	145~146
138	3 - C &	5-C &	127~128

実施例 系	¥	Ж	% (°C)
139	i–Pr	3	89~91
140	Pr	3	815~825
141	t—Bu	3	112~113
142	s—Bu	3	67~71
143	Bu	3	Ca.H_O/40~/42
144	i—Bu	3	Ca //4~//9(d)

※ プロピオン酸残基の量換位置

昭 5311.18 発行



_						
	実施例 ん	x	A	Y,	Ya	\$ (℃)
T	145	H.	0	2-Me	H	120~121
١	146	н	0	3-C8	·H	115~116
١	147	H	0	2-C#	H	86~87
١	148	H	N-Ma	3_C4	H	Ca: 4H ₂ O /75~/78
١	149	H	8	H	H	85~87
	150	Ħ	0	2-C4	3-M.	147~148
	151	H	0	3-F	H	107~108
	152	H	0	2-Me	5-C#	130~131
	153	н	NH	3-C4	H	144~145
	154	4 -Me	NH	2-01	H	185~188
١	155	4-M o	NH	3-F	H	163~164
١	136	µ —Me	NH	2-F	Ħ	202~204.
ł	157	H	NH	2-F	H .	190~1915
١	158	Ħ	NH	3-08	5-C4	177~178

159	⊈-Me	N—Me	3-C#	3-C1	138~139
160	4-Mo	NH	3-Ma	H	20/~202
161	H	N—Me	3C8	5-C4	180~181
162	H	N—Me	2-Y	H	111~1125
163	H	0	2-F	H	74~75
164	H	NH	3—¥	н.	160~161
165	H	N-Me	.2-Me	H	165~166
166	H.	N-Me	3-F	H	98~100
167	Ħ	NH	2-C#	H	174~175
168	H	NH	"2-Me	н	160~161.5
169	H	N-Me	2-C#	H	141~142

各変中の略号は以下の意味を変わす。 i-Pr:イソプロピル基 Pr:プロピル基

t-Bu:t-ブチル基 s-Bu:sec-ブチル基 i-Bu:イソブチル基。その他の略号は前記の

U 上